



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-7062

担当者の所属・氏名：リハビリテーション科・佐藤 宏幸

【研究責任者】

聖路加国際病院 リハビリテーション科 佐藤 宏幸

大腿骨近位部骨折術後の方を対象とした

術後歩行と筋肉量に関する研究

1.研究の対象

- ・2022年12月～2023年8月末までに当院に入院して、大腿骨近位部骨折の手術を受けられた60歳以上の方（受傷前に歩行可能であった方）

2.研究の目的・方法

現在、大腿骨近位部骨折の術後では術後早い時期からリハビリテーションを実施しておりますが、入院中に全身の筋肉の低下を認める方が多い状況です。今回、入院期間中の筋肉量について調査することで筋肉量が低下しやすい方の特徴を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2026年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2023年10月6日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

- ・主なデータ項目は以下となります。
年齢、病歴、BMI、筋肉量、歩行練習の開始時期、血液検査の検査値、等